

「胆嚢癌術後予後因子についての検討」に関する研究

1. 研究の対象

2012年1月1日から2021年12月31日の間に当院で切除可能胆嚢癌に対して手術を施行した患者さん。

2. 研究目的・方法

近年の臨床試験の結果から、胆嚢癌に対しては手術のあと再発や転移をしにくくするため術後補助化学療法を行います。これにより長期的な予後が改善されるといった報告があり、標準的な治療方法を示すガイドラインの上でも推奨されています。しかし、胆嚢癌に対する外科的手術は身体への負担(侵襲)が大きくなること、手術することにより追加で起こる合併症の発生率の高さなどから手術するかどうかは慎重に考慮すべきであり、手術前に手術することにメリットやデメリットになる病状や検査値などが予測できれば手術をするかどうかの判断の一助になると考えられます。最近では様々な栄養指標が影響を与えると報告されており、今回はリンパ球-単球比(Lymphocyte-monocyte ratio : LMR)に着目し研究を行うこととしました。電子カルテ情報より過去の診察歴を収集し、解析します。

研究期間は病院長承認日から2024年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報録上に記載された手術関連情報、術前採血検査結果、術前画像検査結果、術後無再発生存期間、術後生存期間など

性別、年齢、手術情報、生存・再発情報

血液学的検査:白血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板、プロトロンビン時間、活性型部分トロンボプラスチン、好中球比、リンパ球比、単球比

血液生化学検査:総タンパク、アルブミン、総ビリルビン、直接ビリルビン、アルカリホスファターゼ、AST、ALT、LDH、クレアチニンフォスフォキナーゼ、コリンエステラーゼ、 γ GTP、総コレステロール、中性脂肪、尿素窒素、クレアチニン、ナトリウム、カリウム、クロール、アミラーゼ、ヘモグロビンA1c、CEA、CA19-9

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 磐田市立総合病院 消化器外科 木内亮太

住所：磐田市大久保 512-3

電話番号：0538-38-5000（代表）